

# 契 約 変 更 理 由 書

神戸市

業 務 名	第 2 須磨汚水幹線他築造工事
<b>契約変更後の業務概要</b> シールド工(泥土圧式)仕上り内径 $\phi$ 1500 mm    L=1827.47m 中大口径推進工(泥濃式推進工) $\phi$ 1800 mm    L=236.96m 中大口径推進工(刃口推進工) $\phi$ 1100 mm    L=19.25m 小口径推進工 1 式, マンホール工 1 式, 立坑工 1 式, 付帯工 1 式, 仮設工 1 式	
<b>契約変更の理由</b> 本工事は、須磨汚水幹線の耐震化を図るための第 2 須磨汚水幹線及び現在改築中の西部処理場への流入渠を築造するための工事であるが、以下の理由により契約変更が生じる。  ・流入渠のNo.1 発進立坑において、立坑築造前の障害物撤去工で当初の想定以上に障害物（鉄筋コンクリート・間知石等）が出現し、ケーシング回転掘削工の対象土質を変更する必要性が生じたため、増工となる。 ・発進立坑の掘削土砂において、当初設計では埋戻に使用する土砂以外をポ ートアイランド 沖に運搬して工事間流用することとなっていた。掘削作業を進めていたところ、掘削土砂の一部が埋戻に適さない粘性の高い土砂であり、当初設計の土砂運搬先であるポ ートアイランド 沖が受入不可になったため、建設汚泥として産廃処分することとなり増工となる。 ・シールド一次覆工の発生土処理において、発進立坑掘削で採取した土砂でシールド掘進時の加泥材の配合試験を行った結果、加泥後の土砂が含水比の高い泥状となりダンプで運搬できないことが判明した。運搬方法・処分地の変更、またはダンプ運搬ができる性状にする固化材での改良工を検討したところ、改良を行い固化させてダンプ運搬することが経済的であるため、改良工が増工となる。	